

## 第 103 回 奨学生研修会 in 金沢



開催日： 2017 年 6 月 9 日（金）～6 月 11 日（日）

開催地： 石川県・金沢市

参加者： 29 名（2016 年度奨学生 14 名・2017 年度奨学生 15 名）

# 研修会日程

日	時間	行程	宿泊先
6/9 (金)	18:30 19:00	ホテル集合 歓迎交流会（夕食）	ドーマーイン金沢
6/10 (土)	09:30 10:30 16:00 17:00	ホテル出発 金沢城公園到着（ウォークラリー開始） ウォークラリー終了（ホテル集合） 表彰式	
6/11 (日)	9:00	アンケート提出（提出後解散）	

6/9（金）19:00～ 歓迎交流会



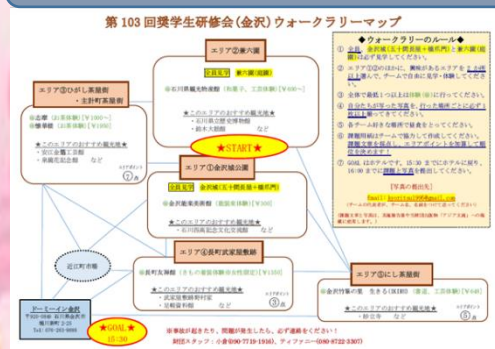
「吟の小判 金沢駅前」にて、それぞれの国や学校のことを話し、おいしい和食を食べながら交流できました！



菊川理事長のご挨拶



6/10（土）10:30～ ウォークラリー



ウォークラリーマップ

この日は皇太子様も金沢をご訪問されていました。金沢城公園に移動途中、訪問中のご様子を間近で拝見することができました。



# ウォークラリー チーム一覧

A	ADHIKARI BHOJ RAJ	北海道医療大学	ネパール	男
	孫 塙	三重大学	中国	女
B	SAYARATH KHONGMA	室蘭工業大学	ラオス	男
	舒 清雲	広島大学	中国	女
C	VINCENT	帝京大学	インドネシア	男
	匡 暁旭	山形大学	中国	女
D	王 冉	東京学芸大学	中国	女
	KHAIRUL HASNI	立命館大学	インドネシア	女
E	趙 成美	東京農工大学	韓国	女
	那 木拉	国土舘大学	中国	男
F	張 琳	山梨大学	中国	女
	OYUNCHIMEG ERDENE	群馬大学	モンゴル	女
G	BATMUNKH ERDENESAIKHAN	京都工芸繊維大学	モンゴル	女
	KIM NAJUNG	神戸大学	韓国	女
H	王 吉喆	長崎大学	中国	男
	RUPASINGHA ARACHCHILAGE HIRUNI MADHUSHA RUPASINGHA	会津大学	スリランカ	女
I	蔡 昀真	新潟医療福祉大学	台湾	女
	DIERA NATHANIA	帯広畜産大学	インドネシア	女
J	肖 英華	静岡文化芸術大学	中国	女
	周 曉潔	東京経済大学	マレーシア	女
K	呂 楠	和歌山大学	中国	女
	TIEU THI HANG	国際マルチビジネス 専門学校	ベトナム	女
L	羅 佳琪	東京フィルムセンター映画・俳優 専門学校	中国	女
	TAMANG KUMAR	麻生情報ビジネス 専門学校福岡校	ネパール	男
M	李 如怡	東京モード学園	マレーシア	女
	申 允美	専門学校ヒコ・みづのジュエリー カレッジ	韓国	女
N	LE THI HUONG GIANG	仙台 YMCA 国際ホテル製菓専門学校	ベトナム	女
	TSERENLKHAGVA PUREVTSEREN	ホスピタリティツーリズム 専門学校	モンゴル	女
O	楊 美玲	日本社会事業大学	中国	女
	野頭 美晴	共立財団スタッフ	日本	女

. . . 2016 年度奨学生  
 . . . 2017 年度奨学生

金沢城公園に移動中



近江町市場

河北門前



ウォークラリー中の様子



金沢能楽美術館

ADHIKARI BHOJ RAJ さん  
孫 塤さん



お茶体験

KHAIRUL HASNI さん  
王 冉さん



きもの着装体験

BATMUNKH ERDENESAIKHAN さん  
KIM NAJUNG さん



金箔ソフトはいかがですか？

TAMANG KUMAR さん  
羅 佳琪さん



ひがし茶屋でお茶体験をしに行く途中！

① 張 琳さん ②王 吉喆さん  
③TSERENLKHAGVA PUREVTSEREN さん④LE THI  
HUONG GIANG さん⑤OYUNCHIMEG ERDENE さん  
⑥RUPASINGHA ARACHILAGE HIRUNI MADHUSHA RUPASINGHA さん



兼六園見学

VINCENT さん  
匡 曉旭さん

兼六園見学

周 曉潔さん、肖 英華さん



ウォークラリーの採点の結果、下の5つのチームが入賞しました。  
5位以下だった皆さんにも、記念品を贈呈しました。  
大雨の中でしたが、沢山の場所を見学し、思い出になる体験もできたのではないかと思います。  
奨学生の皆さんお疲れ様でした！

1位 Mチーム



申 允美さん  
李 如怡さん

3位 Eチーム



那 木拉さん  
趙 成美さん

2位 Oチーム



楊 美玲さん  
野頭 美晴さん

4位 Iチーム



DIERA NATHANIAさん  
蔡 昀真さん



5位 Bチーム



SAYARATH KHONGMAさん  
舒 清雲さん

参加賞の配布



記念品贈呈（タンブラー）  
OYUNCHIMEG ERDENEЕさん  
張 琳さん



記念品贈呈（コースター）  
TIEU THI HANGさん  
呂 楠さん



表彰式の様子



## 感想文紹介

参加者の皆さんには課題として下記の項目について感想文を書いていただきました。

- ① 金沢城（五十間長屋、橋爪門）兼六園の見学について
- ② 自分たちで選んで行った見学地、体験について
- ③ 感想文

1位

**Mチーム** 李 如怡（東京モード学園）マレーシア ・ 申 允美（専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ）韓国  
李 如怡（東京モード学園）マレーシア

- ① お城全体が木で作られて、とてもいいにおいしていて、気持ちが良くなります。木組は仕口や継手は部材を繋ぐ木構造の独特の方法らしいです。日本は昔から技術がすごいと思います。スタッフの話からすると、屋とか壁とかの木材が違って、それぞれ硬さと重さによって、用途が違らしい。地震にの対策も万全だそうです。急に大雨になって、移動するの大変になって、時間があまりなくて、ゆっくりで見れなかったのが、今度また来ようと思う(,,´-`,,)桜の木あったけど、夏だから咲いてなくて、惜しかった。他の木はきれいで、とてもたくましくて、日本の風雅が感じられる。抹茶と和菓子の体験に参加して、とてもきれいな和室に座って、和菓子食べながら、

外の風景を見る、とても楽しかった。

- ② にし茶屋街は日本の歴史を感じられる街でした。竹で作られた筆で字を書くのは人生初(,,>\_<,,) 竹の筆は本々中国のものらしいけど、今世界中に唯一竹の筆を売ってるところはここだそうです。店の人はとても親切で、何枚も書いてもらって、おみやげとしてプレゼントされた。

- ③ 今回の研修会に参加させていただいて本当にありがとうございます。ウォークラリーの一位はどこがいいのか言ったら、奨学生たちは互いに勉強相手になれたらいいと思います。これからどうぞよろしくお願い致します。



申 允美（専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ）韓国

- ① 全体的にヒノキを使って、リラックスできました。はしらと天井の組み立て合わせを見て、やっぱり昔から地震に対しての対策がすごいと思いました。木の種類によって重さや、使い方が変わっているのを見て、昔の人は発展してない状況でもあるものを知恵のあり使い方をしていると思いました。緑の色味がきれいでした。桜の木の種類がいっぱいあってやっぱり日本の花って感じました。ただ、まだ桜とか花が咲いてなくて残念でした。ここでお茶と和菓子の体験ができました。正座が慣れてなくて大変でしたが、心がすごく落ち着く、外の庭がきれいで、雨の音すらよく聞える時間でした。

- ② 小さな京都を感じられるきれいな道でした。書道体験は人生で初めてだったのですが、すごく楽しかったです。日本唯一の竹の筆が残ってる所だと聞きました。竹の筆の感じがよくて一本買いました。みんなすごくやさしくて、何枚も練習させてもらいました。すごくいい思い出として残る体験だと思います。

- ③ みんなで仲良く色んなことができてとっても楽しかったです。特に同じ国の人と泊まらせて下さってすごく助かりました。最後にウォークラリーの時間が足りなくて、もっと慎重に金沢を見られなくてちょっと悲しかったです。でも全体的にすごく良い時間でした。





**0チーム** <sup>ヨウ</sup>楊 <sup>ドレイ</sup>美玲（日本社会事業大学）中国 <sup>ノガシラ</sup>・<sup>ミハル</sup>野頭 美晴（共立財団スタッフ）日本

<sup>ヨウ</sup>楊 <sup>ドレイ</sup>美玲（日本社会事業大学）中国

① 木の色と素材はその物のままに使用している。木の本来の色は気も持を抑えられる。建物は木組みで地震にも強いと聞いた。きれいだけではなく、実用性もあると感じた。この建物の十分の一という形で作られて、非常にこまかくて、素晴らしいと思う。石落としというところは敵の侵入を防ぐための設計も見た。車いすもしっかり用意して、様々な人に利用しやすい。きものが着ていた女性スタッフは昔なりの日本の感覚で、結構歴史があるにがい抹茶を出してもらい、甘い和菓ももらいました。抹茶のがみと和菓しの甘味は絶妙なバランスを取って、心が落ち着きました。またはおいしいものを食べながら、庭の景色が目に入りました。雨の中には普段よりもっときれいだと思います。周りの池に木が樹木を支えていることがはじめて見ました。自然を大切にしていると感じました。

② 着物を着るのは初体験でした。スタッフがやってもらいましたから、楽ですけど、結構難しいと感じました。着物を作る過程も展示しているから、柄と花のデザインが細かくて、色付けが複雑と思いました。着物は女性の体型にあまり関係なく、すべての人は楽しめます。しかし、着物に関する文化の話をあまり聞いていなかったのは少し残念でした。



③ 来年はできればいる時間に遊ぶ時間(共同)を少し延長してほしいです。沖縄か北海道へ行きたいです。

<sup>ノガシラ</sup>・<sup>ミハル</sup>野頭 美晴（共立財団スタッフ）日本

① 建物の作りが日本古来の木造軸組工法で作られているということで、それが階段にまでも反映されており、感動しました。くぎをつかってたてられている家などと比べ、建てる時に非常に時間がかかったように思えました。壁は漆喰、砂漆喰、中漆、斑直し、下漆、砂漆喰、竹小舞と何重にも塗り、外部からの火を防ぐ防火戸の性能があるのを見て、現代にはないその時代を反映した作りがほどこされていることにおどろきました。時雨亭に行ってみて、抹茶をのみながらスタッフのお話をきき、建物についてふかくきくことができました。お茶をのみながら木組みでつくられた建物の特徴をきくことにより、より一層、日本の建物について興味をもつことができました。また金沢といえば金箔ソフトクリームをたべながら金沢の町並みをたのしみしました。川の流れ、松の木などをみて、心までリフレッシュされました。



② 着物体験は日本人でもあまりきることのできない良い体験ができたと思います。また着物の種類をみながら金沢の水引をみることができ、金沢のすばらしい文化をみることができました。

③ 悪天候の上、開始時間が遅れるという状況で、見学・体験が十分にできるか不安でしたが、私たちのチームは、金沢市老舗記念館に

行き、金沢の婚礼模様や手毬を見学したり、他にお抹茶体験、着物体験をしました。実際に金沢の色々な場所に足を運ぶことで直に日本(金沢)文化を感じることができ、さらにいく先々での驚きや感じたことを共有することでペアの参加者との親睦も深めることができました。出来るだけ多くの体験、見学をしようと行動していた甲斐もあり、二位という結果を残すことができました。日本人ではありますが、日本文化を改めて見直すいい機会となりました。

3 位

**E チーム** 趙 成美（東京農工大学）韓国 ・ 那 木拉（国士舘大学）中国

趙 成美（東京農工大学）韓国

① 金沢城は石垣が日本の中で長い有名な城で、城郭が巨大な木造建築物です。城の内部には木で建てられた誠意説明になっていて、城は敵の侵略を保護するための機能が重要であり城の外郭の堀、様々な石垣を見学しました。金沢城の横にある兼六園と石川門を通じていくことができました。兼六園は岡山の後樂園、水戸市の偕楽園とともに、日本の 3 大名園の中の一つです。昨年に岡山の後樂園を行ったけど、兼六園は松の木が多く庭でした。松の大木を見ながら園の歴史の道を改めて感じることができました。

② ひがし茶屋街に行きました。町の雰囲気は江戸時代の商店街と似たような感じで京都のある距離くらいに位置も聞きました。でも国指定重要文化財“志摩”に入って見学をして考えが変わりました。また、お茶体験も“志摩”でするようになったが、お茶体験といえば景色を眺めながらお茶を飲むのと教えてくれました。見学に来たというのは作り方を直接見せてくれました。

③ 今年が 2 年目です。奨学生たちの OB の集まりがあれば良いと思います。お世話になりました。ありがとうございます！



那 木拉（国士舘大学）中国

① 金沢城の菱櫓と五十間長屋を見学しました。とても立派な建物だと思います。400 年前ぐらいに造られたこの城は技術的にとても素晴らしいです。白の外壁を美しいお城でした。日本に来て今まで訪れた中で一番素敵な庭園です。私は先輩と 1 時間くらい庭園の中散歩した。たくさん見る物があつた。滝、池、彫像、木、花など。美しい場所で、訪れる価値があり、来年、桜の時期にもう一度見に来たいと思っています。



② 私は先輩と 3 つ目は、ひがし茶屋街に行きました。街全体古風な雰囲気で、とてもすてきです。また、日本で唯一、国の重要文化財に指定されているお茶屋“志摩”を見学しました。志摩の中には、茶房があり、金沢の伝統的な和菓子と抹茶がいただきました。

③ 今回の金沢研修会に参加して、とても楽しかったです。いろいろな国の人々と交流して、得るものがたくさんありました。ありがとうございました。スタッフのみなさん、お疲れ様でした！



## 引率後記

今回開催した、第 103 回奨学生研修会(石川県・金沢市)には、(一財)共立国際交流奨学財団奨学金の奨学生、総勢 29 名が参加しました。

参加者各自が金沢に到着した後開催した交流会では、和食を楽しんでもらいながら、それぞれの留學生活のことや就職活動のこと、母国の文化について会話することができ、2016 年度奨学生と 2017 年度奨学生が一堂に会し顔を合わせることで、有意義な情報交換ができたように思います。

ウォークラリーの当日は傘も役に立たないほどの大雨で、急遽ウォークラリーのルールや時間の変更を余儀なくされました。しかしながら、限られた時間内でも参加者はペアで協力して行動し、日本や金沢の文化、歴史についてしっかりと学んでもらえたように感じられました。運営者としても、参加者が十分に研修会を体験できるよう、当日の状況や時間を考慮してルールや運営方法を臨機応変に変更することの必要性を学ぶことができたと思います。

今回の研修会が奨学生の皆さんにとって学びや発見のあるものになったことを願います。(小倉)

第 103 回奨学生研修会のため、2016・2017 年度の共立国際交流奨学財団の奨学生は 29 名が石川県金沢市までいらっしゃいました。1 日目の交流会でおいしい和食をたべながら色々なお話で盛り上がりました。自分の勉強、旅行話、就職活動等についての話を聞き、奨学生の皆さんは将来にも「日本で生活したい、仕事したい」という人が多かったで、嬉しくなりました。

初めて金沢に訪れた参加者が多く、2 日目のウォークラリーでは金沢市内で金沢の伝統的な文化や歴史について学ぶことができました。大雨の中で、ウォークラリーの参加者は兼六園からひがし茶屋、にし茶屋等まで行かれ、きもの着装やお茶等を体験し、日本と金沢の文化の知識がより一層深まったことを願います。引率者としても、ウォークラリー中に出会った参加者の感想動画を撮るべきだと感じました。また今度の研修会で参加者が楽しんでいる様子を撮りたいと思います。

今回の研修会で 2016・2017 年度の奨学生がお互いに仲良くなり、一生忘れられない経験となったことを願います。(ティファニー)

日本の古き良き街と言われている石川県金沢市にて第 103 回奨学生研修会が行われました。

初日に行われた交流会では、参加者同士が積極的に日本語を活用しつつ、学校生活や就職活動、自国の紹介等の話題で盛り上がっているようでした。また、交流会中に行われた自己紹介では専攻で学んでいることを発表してもらい、その後参加者各自で自分の専攻に近い参加者の席に移動して会話をしたりと積極的に交流をしている様子が伺えました。

二日目のウォークラリーでは、悪天候の上、開始時間が遅れるという状況での実施になりましたが、各チーム時間を見ながら行く場所を定め、金沢の郷土料理を食したり、博物館に足を運んだり、時間内で少しでも多くの日本・金沢の文化を感じられるよう行動していました。

二泊三日の短い研修会ではありましたが、最終日には参加者同士が別れを惜しむ姿があちこちで見受けられ、参加者にとって非常に良い時間になったのではないかと思います。(野頭)



一般財団法人 共立国際交流奨学財団  
〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-18-8  
03-5295-0205 kif-info@dormy.co.jp